

## 小浜のこれからに期待

院長 中山 茂樹

2017(平成29)年、明けましておめでとうございます。今年には経済や政治の変革がおこりそうな年になりそうですね。私達の生活が明るくなるような方向であればいいのですが。

さて、1月14日の土曜日に当院の新年会を催しました。客人が15人に職員35名の小さな医院の割にはかなりの大所帯でした。ところがこの日は滅多にない大雪で小生の友人の医師が今津からタクシーが小浜まで走れないということで、参加できなくなりました。自然の脅威には現代文明も太刀打ちできないと思い知りました。年々、自然の猛威が増えてきているように感じるのですが皆さんはどう思われますか。

当院、産婦人科・小児科は若い人が多いので、仕事上では余り感じないのですが、小浜市も超高齢化社会になっており、小浜市の人口の30%以上が65歳以上という状況です。これがこの10年後、20年後、あつという間に増えていくという予測がたちます。老人ホームの許容量を超え、老々介護の人が増え、少子化が進み、小浜の人口はようになっていくのでしょうか。将来新幹線が付くとさらに人口は流出し、ショッピングも京都へと移り、購買力も地元は減少し、先々どうなっていくのか、未恐ろしい気がします。

今、足元を見直し活動を始める時期と思います。自然を活用し、伝統を再復活させ、魅力ある街づくりをする最後のタイミングと考えます。寺院や食文化は京都と比較すると見劣りしますが、比べる必要はないので、小浜は小浜の文化を表現し、また、新たに作っていくことをしなければならぬでしょう。当院、新年会の時に皆さんにお話しさせて頂いたのですが、それができなければ温泉でも掘り出すしか道はないのですよと。温泉だけはどこでも癒しの源となり、新しい温泉は多くの人々が集まる処となるのではないかと思います。

今のところ他にもう一つ、自然と一体型の遊歩道やハイキングコースをいろいろ沢山作るというのはいかがでしょうか。あるいは、老若男女、子供も入れて安全で健康を維持できる、スポーツなどの取り組みも面白いと思います。

まだまだ、小浜もこれから発展しなければいけないと考えています。今年一年、よろしくお願ひ致します。

## 乳がん手術法の個人選択

乳がんの手術には大きく分けて3通りの方法があります。①乳房を部分的に切除し、残る部分には放射線治療を行なう。②乳房を全て切除する。③全て切除した後、乳房を人工的に作り直す。生存率はほぼ同じですが費用や手術後の見た目は違い、患者さんの価値観、人生観などの違いでその人にはどの方法が良いのか、最適な手術が異なってきます。患者さんはそれらの手術法の効果や生活への影響などを医師の説明や表や図や写真などから見比べ、聞き比べ、大事にしたい点を確認し、医師と十分な相談をするのが良いと言われています。しかし、患者さんはそれでも選択に悩むと言われています。

そこで、聖路加国際大学の中山教授と東京慈恵会医科大学の大坂講師(看護学)が手引書を作られたというニュースが新聞などに紹介されていました。それによると長所や短所などが14項目にわたって示されていて、各項目を0~5点で評価し、点数を見ながら何を大切にするかを改めて理解し、自分に合った手術法を決めるというものです。手術後の納得度を尋ねると従来の説明文だけより高い結果が出たということです。

## 入園予約と途中入園

政府は来年度予算に子育てする親が働きやすいように子供が1歳になったら認可保育施設に入れることができる「事前予約制」と、育児休業を1年間とった後、年度途中でも0歳児クラスに入れたいできるようにする仕組みを決めて、市町村に予算処置を講じるように促すことを決めました。この制度がどのように実現していくか、皆さんよく見守っててください。

## アメリカの新大統領にトランプ氏

院長の文の冒頭にあります「今年には経済や政治の変革の年になりそう」、には米新大統領トランプ氏のゆくえが含まれていると思われます。先日、私はアメリカの友人(インテリ白人)に電話をして“どう思う?”と訊きましたら“アメリカ人の恥、アメリカの国の恥だ”と答えました。“私は必ずしもそうは思わんが…”と言うと“アメリカ人じゃないからそう言えるんだ”と怒っていました。政治、行政経験なし、軍歴なし、資産数百億ドル。アメリカ発のトランプ旋風が日本にどう吹いてくるか。世界情勢に目が離せない年になりそうです。(松井)

《あとがき》 1) 1月15日(土)は今年一番の大雪で20cm、次いで23日(月)の15cmでしたが他所の1m以上とかのニュースを聞くと当地に感謝します。 2) 当院ミニギャラリーは目下門野滋幾(かどのしげゆく)さん(おおい町納田終)の水彩画です。70歳の手習いです。